

「リペアクリートAR・リペアクリートAR-M」 取扱説明書

※AR-MはECサイトでのご注文は承っていません。ご希望の方は最寄りの営業所に連絡ください

1.内容品とその用途

リペアクリートARの荷姿

ペール缶20kgセット	リペアクリートAR粉体 10kg×2袋	硬化調整材 200g×1袋
		
	水道水と混ぜて使用します	高温時(外気温25℃以上)に添加し、 可使時間を延ばします

2.施工方法

材料混合・混練(基本厚)

製品名	粉体		水	
リペアクリートAR (基本厚3~5mm)	10	kg	1.8~2.2	kg
	20	kg	3.7~4.4	kg
リペアクリートAR-M (基本厚5~10mm)	10	kg	1.5~1.7	kg
	20	kg	3.0~3.4	kg

・練り混ぜ

リペアクリート粉体を必要量モルタルミキサーに入れ、規定水分量を投入し2~3分ほど攪拌、少量の場合はハンドミキサーにて代用可。

※ リペアクリートAR、AR-Mの基本厚はそれぞれ3~5mm厚、5~10mm厚ですが、珪砂を追い足す事で仕上がりが厚さを調整できます。

【珪砂を最大限添加した場合の配合例】・・・細かい粒度を使用すると作業に悪影響がでるため必ず4号珪砂を使用してください。

リペアクリートAR(50mm) : リペアクリートAR+4号珪砂70%

リペアクリートAR-M(50mm) : リペアクリートAR-M+4号珪砂30%

養生

特別な養生は必要ありません。

【硬化時間目安】

比較項目		リペアクリートAR	リペアクリートAR-M
可使時間	5℃	30~40分	30分
	20℃	20~25分	20分
	30℃	10~15分	10分
硬化時間 (軽歩行可能)	5℃	60~90分	60~90分
	20℃	60分	60分
	30℃	40分	40分

※ 記載の可使時間、硬化時間は目安です。

3.施工上の注意事項

[下地処理について]

施工箇所に付着したごみや泥を除去します。下地の脆弱部や旧補修材などの残留物は接着阻害の要因となり、クラックや剥離の原因となります。また、塗料などの上への接着性は良くないためハツリとるか研磨し完全に除去してください。

※ 端部に目地入れすることで、端部での剥離を軽減することができます。

※ 目地入れをする場合はリペアクリートAR及びAR-Mを塗付けるコンクリート及びアスファルト下地との境目部分に事前に目地切カッター等で切り込みを入れてください。(目安2mm幅、深さ5mm程度)

[材料使用上の留意事項]

・本製品は速硬化型ですので使用した容器やドリル、コテなどはすぐに水で洗い流してしてください。

・吸湿性を有する粉体のため湿気厳禁。開封後は使い切ってください。

・使用する際は保護メガネ、保護マスク、ゴム手袋などの保護具を着用してください。

※ 作業時には直接素手で触れないでください。化学反応時、一時的に発熱し高温状態になる場合があります。

・リペアクリートAR及びAR-Mは水、湿度等の影響を受けると配合組成上必ず白く成りますが、性能、物性には問題ありません。

※ リペアクリートAR(AR-M)硬化後、上塗り等の着色を行なうことで白変問題を解消することが可能です。

・外気温が25℃以上の場合や路面温度が30℃を超える場合は、付属の硬化調整材を添加し使用してください。

※ 添加量は正袋10kgに対して正袋目分量で構いませんので、硬化調整材200g入り袋の半分(100g)添加してください。

[安全衛生]

・目に入った場合、すぐに流水で洗い流してください。

・目をこすると傷がつかますので、こすらず静かに十分に洗い流した後、必ず眼科医の診察を受けてください。

・飲み込んだ場合、無理に吐き出さず医師の診断を受けてください。

